

今週のビルマのニュース
2010年5月28日【1020号】

国民民主勢力(NDF)が政党登録の申請

・7日に解党となった国民民主連盟(NLD)の党員が中心となって結成した新党、国民民主勢力(NDF)が27日、総選挙に参加するための登録申請を行った。NDF幹部によれば、ビルマ全国から入党希望の連絡が来ているとのこと(27日イラワディ)。

1990年総選挙から20年、世界各地で行事など

・1990年総選挙の20周年記念日だった27日、当時80%以上の議席を獲得した国民民主連盟(NLD)がラングーン(ヤンゴン)の副議長宅で式典を行い、約70人が集まった(27日AP)。このほか30日まで日本を含む世界各国で関連行事が予定されている。

・米国ではマコネル共和党院内総務ら上院議員6人が27日に声明を出し「[解党を余儀なくされた]NLDはビルマでの法的地位を失ったが、[90年の総選挙でNLDに投票した]多数のビルマ国民にとっては正当性を持ち続けている」としてNLDに敬意を示した。また軍政が90年総選挙の結果を認めず抑圧政治を続けていることを強く非難した(声明本文)。

東京では国会議員とNGOの意見交換会

・参議院議員会館で26日、「ビルマ(ミャンマー)2010年総選挙の情勢と民主化・人権状況～国会議員・NGOの意見交換会」が開かれ、ビルマ情報ネットワークが基調報告を行った。「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」と「アムネスティ議員連盟」とが呼びかけたもので、議員十数名と、アムネスティ・インターナショナルやビルマ市民フォーラム、国民民主連盟(NLD)解放地域日本支部などのビルマ民主化支援団体が参加した。

注目のレポート

国際危機グループ(ICG)がビルマの総選挙について報告書を発表した(27日)。「新憲法や、総選挙が開かれたものにならないことについて国際社会からもっともな批判が寄せられている。しかし総選挙がもたらす政治的・世代的な転換は、[ビルマ]の将来の方向性に影響を及ぼす機会として、この30年間でもっとも良いものになるかもしれない」とし、総選挙を肯定的に受け止めている。

<http://www.crisisgroup.org/>

ビルマへの政府開発援助(ODA)約束状況など
新たな発表はなし

イベント情報

☆アカデミー賞長編ドキュメンタリー部門候補作品
「ビルマ VJ 消された革命」公開中

・ビルマ軍事政権のすすめる2010年総選挙に反対・国連事務総長に対しアウンサンスーチー氏とすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動 在日ビルマ人共同行動実行委員会(国連大学前24～28日15～16時)

・『ビルマ VJ 消された革命』公開記念トークイベント「ビルマ民主の声(DVB)は日本でも取材しています」ティンアウン(DVB在日記者)(シアター・イメージフォーラム、29日15:05～の上映後)

・ビルマ市民フォーラム例会「どうなるビルマ総選挙?～在日ビルマ人民民主化活動家からの声」(文京シビックセンター区民会議室5階会議室C、29日18時半～)

・ビルマの歴史を学ぶ会主催「ビルマの歴史学習会」講師：根本敬(上智大学教授、PFB運営委員)(万世橋区民会館6階洋室、30日13時半～)

・ディペーイン虐殺事件から7年ービルマ軍事政権の2010年総選挙に反対・アウンサンスーチー氏と全政治囚の釈放を求める抗議行動 在日ビルマ人のみなさん(在日ビルマ大使館前、30日15時～16時)

・『ビルマ VJ 消された革命』トークショー 宇田有三(フォトジャーナリスト)×箱田徹(ビルマ情報ネットワーク)(大阪 第七藝術劇場、6月5日14:40からの上映終了後。14:40の回の鑑賞者対象)

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165